



2024年7月4日

### 霞ヶ関キャピタル株式会社向けサステナビリティ・リンク・ローンの取組みについて

千葉銀行（頭取 米本 努）は、2024年6月25日（火）、霞ヶ関キャピタル株式会社（代表取締役社長 河本 幸士郎、以下「霞ヶ関キャピタル」）に対し、同社が策定したサステナビリティ・リンク・ファイナンスフレームワーク（以下「本フレームワーク」）を利用した、サステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」）を実行しましたのでお知らせします。

本フレームワークは、竣工となった物流施設の環境認証<sup>※1</sup>についてのSPT<sup>※2</sup>を設定し、脱炭素社会の実現に向けた取組みを推進していくことを目的としており、今回、当行は本フレームワークを利用し、SLLを実行しました。

当行は今後もグループ一体となって、サステナブル・ファイナンスを提供することで、お客さまや地域社会のパートナーとして、社会・環境問題の解決に資する取組みを一層推進し、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

※1 「CASBEE」（建築環境総合性能評価システム）または「DBJ Green Building 認証」（日本政策投資銀行が創設した認証制度）を想定

※2 SDGs・ESG戦略における事業挑戦目標（サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット）

#### 【サステナビリティ・リンク・ローン概要】

借入人	霞ヶ関キャピタル株式会社（東京証券取引所プライム市場上場）
貸出金融機関	千葉銀行
実行日	2024年6月25日（火）
SPT	各年度に竣工となった全物流施設に対する環境認証で、Aランクまたは4つ星以上の認証ランクを取得する
第三者意見	株式会社格付投資情報センター
融資金額	1億8千万円
資金使途	運転資金
貸出形態	証書貸付

#### 【霞ヶ関キャピタル株式会社について】

霞ヶ関キャピタルは、物流施設やホテル、ヘルスケア施設などの不動産ファンドの組成・運用コンサルティングを主業とする会社です。「その課題を、価値へ。」という経営理念のもと、「成長性のある事業分野」と「社会的意義のある事業」を両立するサステナビリティを主軸とした不動産開発事業を行っています。

以上